

国立大学入学者選抜研究連絡協議会の活動

国立大学における入学者選抜に関する研究の交流と協力を推進し、入学者選抜方法の改善に寄与することを目的に、昭和55年6月、各国立大学の入学者選抜方法研究委員会と大学入試センター研究開発部で組織された国立大学入学者選抜研究連絡協議会の第11回大会が、平成2年5月31日(木)及び6月1日(金)の2日間、広島市の中国新聞ホールで開催された。

総会及び研究会には、公私立大学からの36名の関係者を含め269名が出席した。公開パネルには、高等学校等から31名の参加者があった。

○第11回総会

会長に熊本芳朗(電気通信大学教授)、副会長に奈良久(東北大学情報処理教育センター教授)を再選した。その他平成元年度会務報告、平成2年度事業計画等が例年どおり承認された。続いて、熊本会長から入研協新プロジェクトの提案があった。

○公開パネル第Ⅰ部

テーマ：大学入試の将来を考える
司会者：元木 健(大阪大学)
有本 章(広島大学)

パネリスト：

上里 一郎(広島大学)
廣實源太郎(流通科学大学)
樋口 彰
(広島県立海田高等学校)
大牟田 稔(中国新聞社)

○公開パネル第Ⅱ部

テーマ：大学情報提供の在り方
司会者：小嶋 秀夫(名古屋大学)
清水留三郎
(大学入試センター)

パネリスト：

水田 一征(広島工業大学)
ロバート・ラッシュ
(広島学院高等学校)
慈道 裕治(立命館大学)
中村 宏治
(大学入試センター)

○研究会

研究会Ⅰ

- ①平野光昭(山梨医科大学)
面接の評価と入学後の成績等との関連について(その2)
- ②吉田一晴・桐木建始ほか(琉球大学)
推薦入学者の学力に関する追跡調査
- ③尼野一夫(岐阜大学)
教養過程における成績と入試

- ④小嶋秀夫・村上 隆(名古屋大学)
入試成績と教養部の成績との相関関係：3年度分の結果

研究会Ⅱ

- ⑤高崎禎夫(広島大学)
面接をこう行なった
— 後期日程/面接の実施報告 —

- ⑥藤原貞雄(山口大学)
センター試験・山口大学入試方法に関する1990年度入学者の認識実態調査結果について

- ⑦熊本芳朗(電気通信大学)
共通第1次学力試験のみによる合格者の第2次試験平均点

研究会Ⅲ

- ⑧山田文康(大学入試センター)
共通第1次学力試験の5教科得点に基づく学力型の分析

- ⑨中村紘司・山崎正吉(北海道教育大学)
高校調査書概評「④」と「A」の実態について

- ⑩前川眞一・繁榊算男(大学入試センター)
ベイズ的階層帰帰モデルとその入試データへの適用

地区協議会

北海道地区、東北地区、中部地区、中国・四国地区の4地区の地区協議会が大会時に開催された。

関東・甲信越地区、近畿地区の2地区の地区協議会は、別の日程で開催され、それぞれ情報交換等を行った。

○共同研究プロジェクト

第11回総会で提案された入研協新プロジェクトには、25の国公立大学と大学入試センターから参加申込みがあった。

高野文彦(大学入試センター・副所長)を研究代表者とし、各機関1名の研究分担者からなる27名の研究組織が発足した。

本研究プロジェクトは、各大学の入学者の追跡調査を組織的にを行い、その結果を比較分析することにより、推薦入学などを含めた選抜方法の相異と、入学者の特性との関連を見出すことを目的としている。また、研究結果は、国立大学協会、公立大学協会を通じて全国公立大学に報告し、各大学の入試改善の資料となることを目指している。

○出版物の刊行

「大学入試研究の動向第9号」
「国立大学入学者選抜研究連絡協議会年報第11号」
「大学入試研究ジャーナル創刊号」
などの出版を予定している。